

S

Group of Biomembrane Functions Symposium

※アドバンス生命理学特論です
Topics in Advanced Biological Science

IGER 国際シンポジウム

Now in Actin Study:

Motor Protein research reaching a new stage

日 時：12月12日（月）9：00－16：10
13日（火）9：00－17：10

場 所：ES 総合館 1F ES ホール

アクチンは生物に普遍的な細胞骨格として、様々な細胞機能（筋収縮・細胞内輸送・細胞運動・細胞分裂など）や細胞形態の維持・動態に主要な役割を演じています。真核生物のアクチンフィラメントに関して、その重合・脱重合ダイナミクスが、多くの調節タンパク質の作用を受け、多彩な様式で制御されていることが分かってきました。しかも、その制御が外力にも大きく依存することなど、細胞機能の多様性を支える基盤となっていることが明らかになりつつあります。アクチンは70年以上前に筋肉の主要構成成分として単離され、すでに研究し尽くされたタンパク質という認識が一般的かもしれませぬ。しかし、近年のナノテク技術や遺伝子操作技術、構造解析技術の進歩によって、アクチンの構造と機能の研究が思いもよらなかった質的転換期を迎えているように見えます。そこで今この時期に、“Now in Actin Study” というシンポジウムを企画しました。

世話人：本間道夫 生命理学専攻（分子第4）TEL：789-2991
アドバンス生命理学特論の出席は各日にとります